

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ネイティブハウス

グループの名称

新潟地域型住宅協議会

直近採択グループ番号

06-0495-0318

(グループ代表者)

代表者名

小松原 亮

代表者印

代表者所属先

松吉ワークス株式会社

代表者所在地

新潟県新潟市東区材木町1番58号

代表者電話番号

025-274-0644

(グループ事務局)

事務局事業者名

大塚住宅建材 株式会社

事務局担当者名

土屋 勝平

印

事務局郵便番号

950-0885

事務局所在地

新潟県新潟市東区下木戸3丁目2番32号

事務局電話番号

025-271-2175

事務局FAX

025-271-2178

事務局担当者E-mail

native@ootsuka-jk.com



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		17	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	17	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
希望申請経への申込事業所を対象に「くじ引き」にて決定する。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0495-0318	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	新潟は冬は寒く、夏は暑い気候の為、多くなりがちな冷暖房のエネルギー消費を抑えるべく、省エネ性能を重要視し、一次エネルギー消費量を少なくする。その為、断熱等性能等級基準とし、HEAT20 GIを目標とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	材料の歩留まりを上げる為には、910モジュールの105巾柱が有効。一方で新潟は積雪地の為、積雪荷重に耐えることが重要となる。双方を同時に解決する為、構造材を許容応力度計算を用いて配置する。また、日照時間が少ない地域の為、冬季における日射取得率を上げ、暖房効率を上げる様考案する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域材の現しを意匠に取り入れることを目標とする。(構造材、造作材どちらか、またはいずれも) また、外構計画においても、常緑樹と落葉樹の計画的な配置を実施し、近隣の景観と一体化したデザインとなるように努める。	◎
④①～③の背景	新潟県は南北に長く、海岸沿いや山間部、平野部、町屋、農村などの特徴が県内に点在する。年間の晴れ日数は全国46位であり、夏の平均気温は東京と変わらない。森林の年間成長量は約89万立方メートル保有しており、県産材の普及が図られている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	現場勉強会・プレカット工場見学などのスキルアップカリキュラムを開催し知識を深め、技術力向上を目指す。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 管柱を105角以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 金物: ZマークまたはCマーク表示金物または同等品質以上とする。 内装・下地材: F☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対策を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 上記のとおり	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: メーカー(建材・住設等)に対して制度の目的と当協議会におけるスケールメリットを説明し、共同購買を推進する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 前項同様共同購買を推進し事務処理の簡略化を図っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会全体を「計画・実行・点検・改善」のネットワークでつなげ、会員からの報告、要望に対して技術室にて調査研究、運用に関する説明会を実施する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会主催の勉強会を開催し施工基準の統一化を図る。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー技術講習会の施工方法を基準として、現場マニュアルを作成。施工基準の統一化を図り構成員相互による現場検討会を実施し、品質の向上に努める。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内現場検査を実施し現場レベル向上を図る。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の書式を用いて見積り、積算を行うよう努める。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ発行の住まいの手引きを配布し、お客様への説明時に活用する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員には、社会保険の加入を義務付けている。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 総会や勉強会などの場で、ワークライフバランスや安全についての講習を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ファイナンシャルプランナーとの提携により資金計画提案に対するサポートを行う。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0495-0318		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の履歴管理システムを利用し、住宅履歴情報の蓄積を行う。また、利用している履歴管理システムは事務局に報告するものとする。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の通り、第三者機関の履歴管理システムを使用する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報の蓄積が行われていることを、事務局が随時確認する。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書にメンテナンス時期を記載し、基準の統一化を図る。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主立ち合いの上、両者にて必要と判断した場合は、即時補修を実施する事とする。会としてのコンプライアンスを定め、誠実に対応するように勉強会でも発信する。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検時の報告書をもって、確認方法とする。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域ごとに建材流通店主催による勉強会を実施しネイティブハウスのアピール等を実施。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主や建築予定者にとって有益な情報を発信するように、説明会や講習会を開催する。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会の中に委員会を設置する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お引き渡し時に、お手入れ方法を記載した「住まいの手引き」をエンドユーザーへお渡しし、住宅の長寿命化を図る。	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 民間の完成保証制度を利用し、万が一グループ構成員が倒産、廃業となった時の担保とする。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会にて、瑕疵内容の実例の周知を図る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会にて、施工技術研修会や手続きに関する情報交換や申請フローの可視化を図る。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループ作成のチェックリストにて、品質が維持されているか施工業者が確認を行う。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記チェックリストを事務局に提出し、事務局にて書面による確認を行う。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店相互で職人の育成を行う為に、職人の融通をしい、多様な現場を経験する事で職人の育成を行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 優秀な職人を共有する事で、施工費の合理化及び、施工品質の向上を図る。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 15名 今年度の参加目標人数 6名
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 1名 今年度の参加目標人数 1名	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会の事務局と連携を取り、開催スケジュールの周知徹底を図る。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部団体への勉強会へ積極的な参加を図る。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

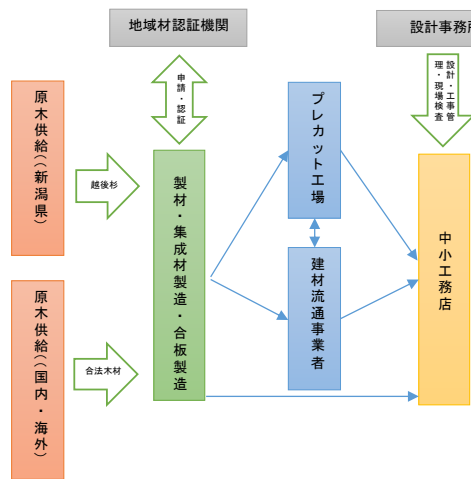
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0495-0318	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	
①	共通 ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	◎
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない □ ある → 内容:
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない □ ある → 内容:
	② グループ全体における地 域材の需給予測	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザイン を継承する取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 新潟県住生活基本計画を取り入れた提案を盛り込む様、勉強会で構成員に周知を図る。
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 新潟県住生活基本計画を取り入れた提案を盛り込む様、勉強会で構成員に周知を図る。
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	その他 ※上記項目以外でグループ自 身のルール・目標があれば記入	



・原木供給会社が海外の場合、本申請で必要とされる念書が入手不可能で、原木供給業者の登録を行っていない場合がある。

・合法木材の一部においては、産地、出荷者が多岐に渡り原木供給者の特定が困難な場合があり、その場合は、製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。

・施工業者の一部において、手刻み加工を行う為、製材・集成材・合板メーカーから直接購入するなど、プレカット事業者を介さずに地域材の調達を行う場合がある。

・製材事業者から直接仕入れを行う場合など、地域材の特性に応じ、一部流通グループを介さずに地域材の調達を行う場合がある。

カ. その他

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	福島県産の材を合法木材として扱い、ネイティブハウスで採用できるように周知を図る。福島に本社を置く事業者を構成員として登録する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県産の材を合法木材として扱い、ネイティブハウスで採用できるように周知を図る。熊本に本社を置く事業者を構成員として登録する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> ネイティブハウス	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 新潟県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 新潟地域型住宅協議会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0495-0318	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>【認定低炭素住宅】 認定低炭素住宅認定基準値に準ずる性能とする。</p> <p>【性能向上計画認定住宅】 認定基準の水準に準ずる性能とする。</p> <p>【ゼロ・エネルギー住宅】 H28省エネ基準を用いた評価とし申請要件 (R0値を20%以上、R値を100%) 以上の性能とする。</p> <p>【優良建築物型】 認定低炭素建築物を取得する場合は水準を省エネ基準-15%以上とし、BELSを取得する場合は水準を★★★以上とする。CASBEEを取得する場合は水準をB+以上とする。</p> <p>&lt;設計指針&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> 気密検査を実施し、C値1.0cm<sup>3</sup>/m<sup>3</sup>となるように努める。</p> <p><input type="checkbox"/> 熱交換換気システムの積極的利用。</p> <p><input type="checkbox"/> 夏季の太陽高度が高くなることを考慮し、方位によっては軒の出を大きくするなどの日射遮蔽を行うよう努める。</p> <p><input type="checkbox"/> 冬季の太陽高度が低くなることを考慮し、軒の出や高さを調整して、日射取得出来る設計とするよう努める。</p> <p><input type="checkbox"/> 断熱等性能等級4を基準としHEAT20 G1を目標とする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。